

犬山市「道の駅エリア」基本計画



第2回犬山市道の駅整備検討委員会 協議資料

～目次～

1. 道の駅について.....	1
2. 計画地における位置づけの整理.....	2
3. 敷地条件の整理.....	9
4. 整備コンセプト（案）.....	15

令和元年 8 月 2 日

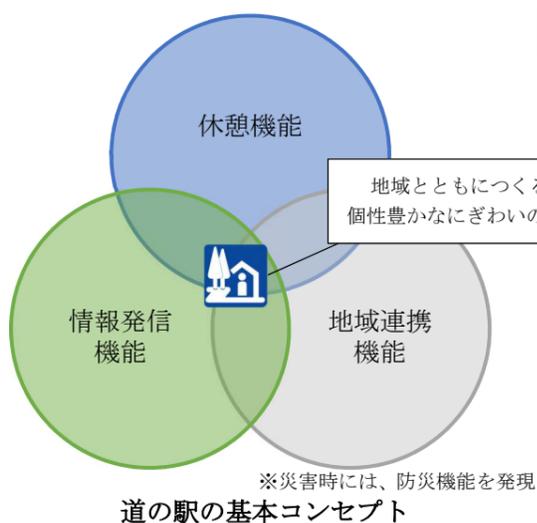
1 道の駅について

■道の駅とは

「道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供」、「地域の振興に寄与」を目的とした施設で令和元年6月末現在、全国で1,066施設が登録されている。

■道の駅の基本的なコンセプト

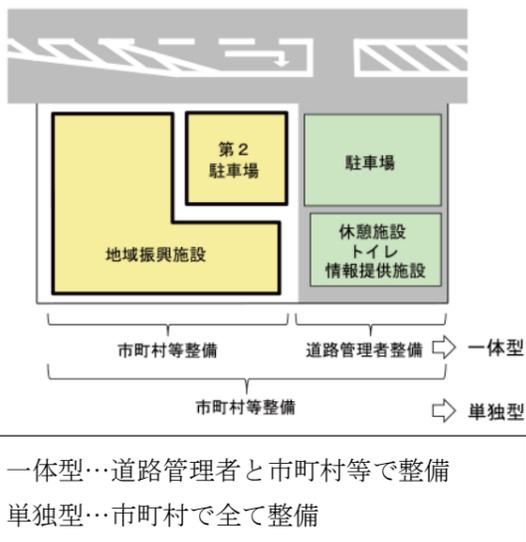
- ・休憩機能…24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ
- ・情報発信機能…道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報などを提供
- ・地域連携機能…文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設



出典：国土交通省

■道の駅の整備主体と登録要件

整備主体と整備内容



道の駅の登録要件

- 設置位置
「道の駅」相互の機能分担の観点から適切な位置にあること
- 休憩機能
利用者が無料で24時間利用できる十分な容量を持った駐車場
清潔なトイレ（原則、洋式）
子育て応援施設（ベビーコーナー等）
- 情報発信機能
道路及び地域に関する情報を提供（道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報等）
- 地域連携機能
文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設
- その他
施設及び施設間を結ぶ主要経路のバリアフリー化
- 設置者
市町村又は市町村に代わり得る公的な団体※
※都道府県、地方公共団体が三分の一以上を出資する法人または市町村が推薦する公益法人

出典：国土交通省

■計画地周辺の道の駅

計画地より20km圏内には5カ所の道の駅がある。なお、国道41号沿線で名古屋から最も近い道の駅である道の駅「ロック・ガーデンひちそう」は、40km以上離れており、国道41号の尾張北部エリアは道の駅空白地帯である。



本市周辺の道の駅

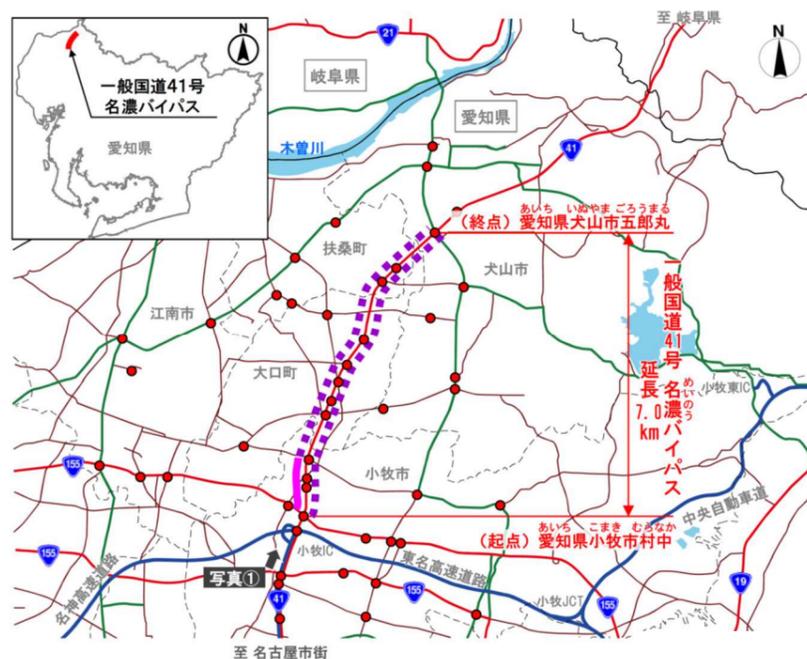
2 計画地における位置づけの整理

(1) 国道41号

- ・国道41号名濃バイパス6車線化事業を実施中。
 - ・交通量は42,971台/日と多く、大型車混入率（交通量に対する大型車の割合）は高い。
 - ・尾張北部エリアの国道沿線は、休憩施設がなく、特に大型車の駐車施設は少ない。
- ⇒国道41号における休憩施設空白地帯の解消が求められる。

■国道41号において進行中の事業

現在、国道41号では愛知県小牧市村中から計画地近辺の本市五郎丸交差点までの区間、延長7.0kmを対象とし6車線化事業が行われている。



事業区間位置図

出典：中部地方整備局愛知国道事務所

課題・効果

■道路交通上の課題

国道41号の交通渋滞

- 小牧市村中から犬山市五郎丸間の国道41号では、信号交差点の連坦(13箇所)、高速道路IC(名神小牧IC名古屋高速小牧北出入口)へのアクセス交通の集中から、慢性的に渋滞が発生しています。
- 小牧市村中から犬山市五郎丸の間は全線が主要渋滞箇所(区間)に位置づけられています。

物資輸送の速達性

- 国道41号沿線には、交通の利便性を活かし、国内有数の製造業・運送会社等の大規模事業所が多数立地しています。
- 国道41号は、名神小牧ICへのアクセス交通(大型車)が多く、通勤交通と輻輳するなど交通容量不足による渋滞が慢性的に発生し、企業活動に支障が出ています。

■整備効果

国道41号の交通渋滞の緩和

6車線化に伴い、交通容量が拡大することで、旅行速度が向上することが予測され渋滞が緩和します。

ピーク時の旅行速度向上	
現状	整備後
上り線 21km/h	31km/h <small>(1.5倍に向上)</small>
下り線 27km/h	33km/h <small>(1.2倍に向上)</small>

※小牧IC⇄五郎丸間の旅行速度

物資輸送の速達性向上

小牧ICへのアクセス時間が短縮し、速達性が向上します。

旅行速度の向上に伴い、名神小牧ICへの15分圏域が拡大	
現状	整備後
五郎丸⇄小牧 29分	16分 <small>(約1/2短縮)</small>
小牧IC15分圏内事業所数 3,700事業所	4,300事業所 <small>(500事業所増)</small>

※名濃バイパスを6車線化した場合のシミュレーション結果より

国道41号の課題と6車線化事業の整備効果

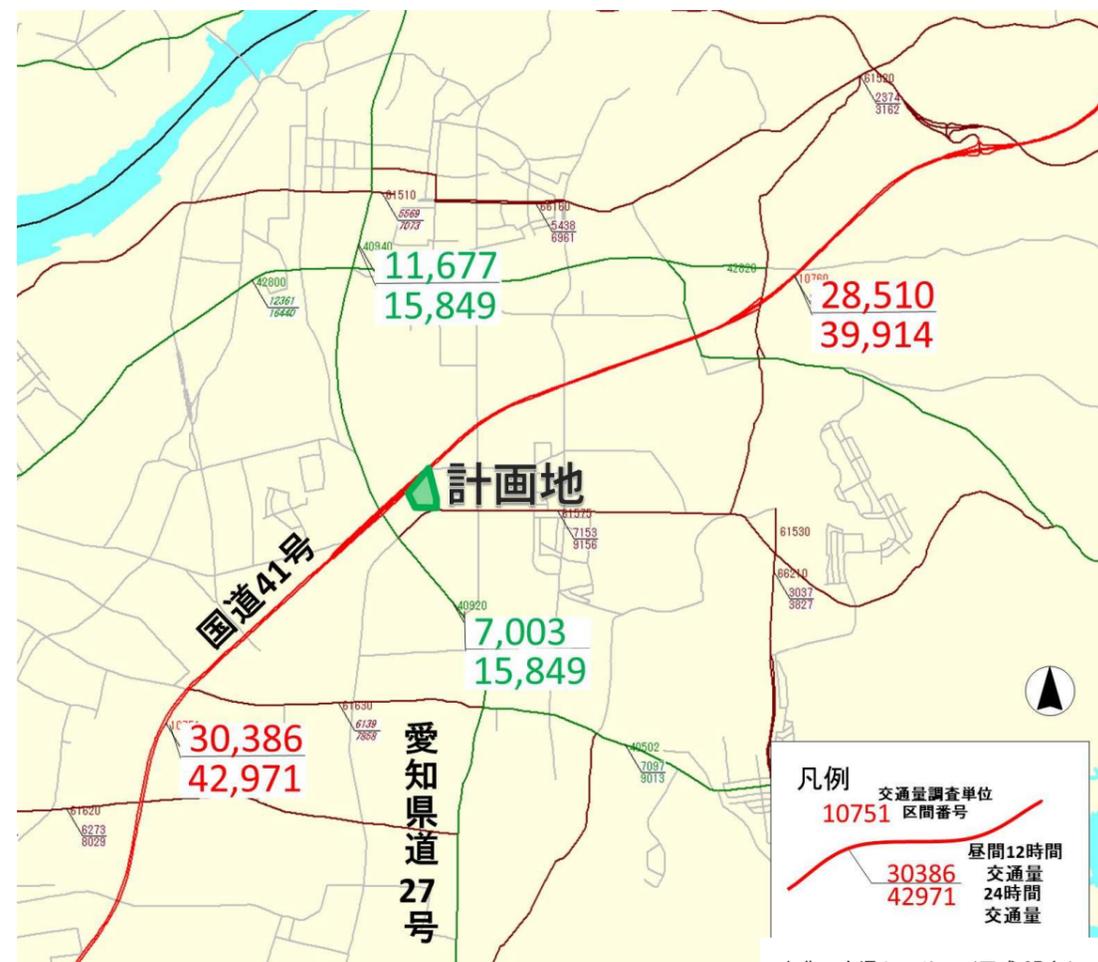
出典：中部地方整備局愛知国道事務所

■国道41号の交通量

国道41号の現況交通量は42,971台/日であり、交通量は多い。また、大型車混入率は17.1%と高く、物流の幹線道路となっていることが分かる。

国道41号の現況交通量

交通センサス(平成27年)	路線	観測地点	昼間12時間自動車類交通量			24時間自動車類交通量			昼夜率	昼間ピーク時	大型車混入率	混雑度
			(上下合計)			(上下合計)						
			小型車	大型車	合計	小型車	大型車	合計				
一般国道41号	高雄道塚	(台)	(台)	(台)	(台)	(台)	(台)	(%)	(%)	(%)		
			25,180	5,206	30,386	35,634	7,337	42,971	1.41	9.9	17.1	1.38

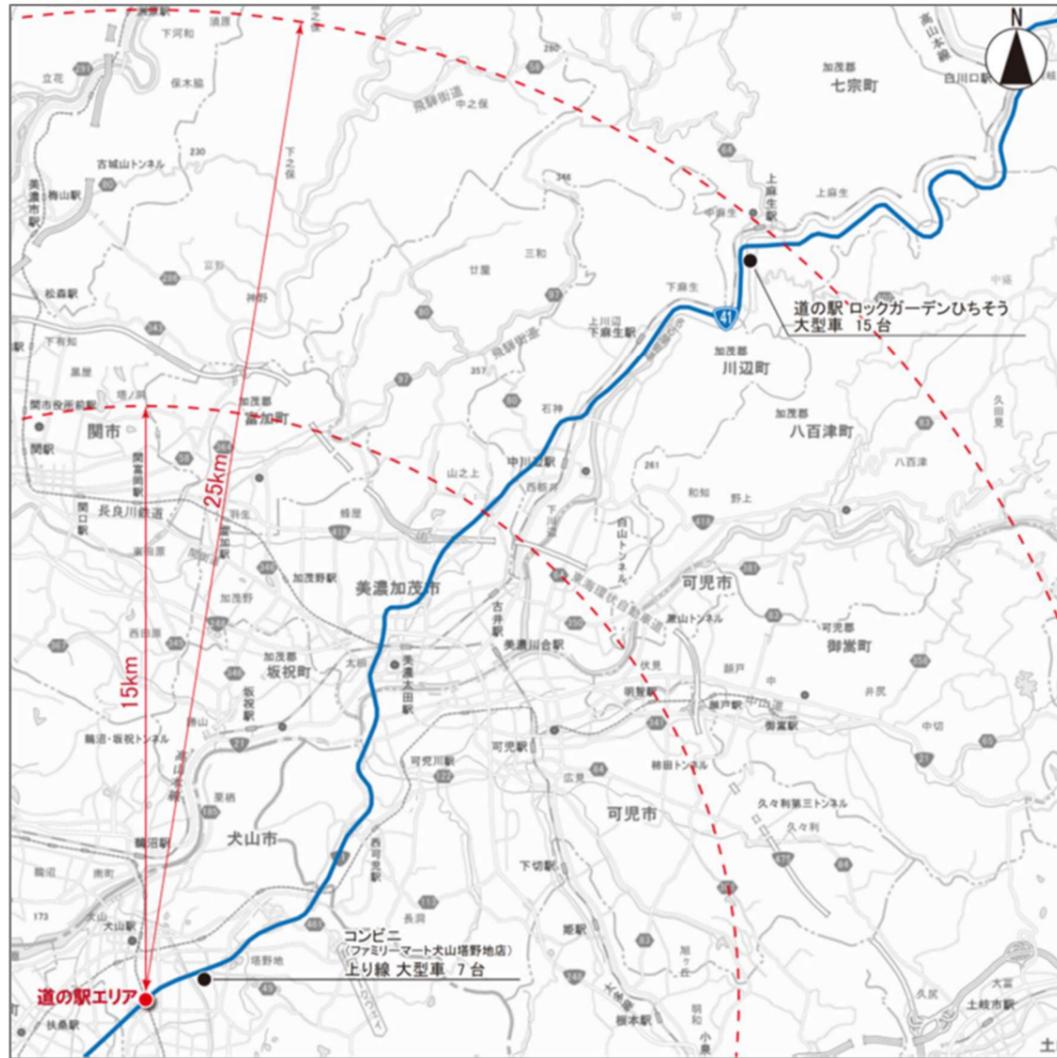


周辺の交通量

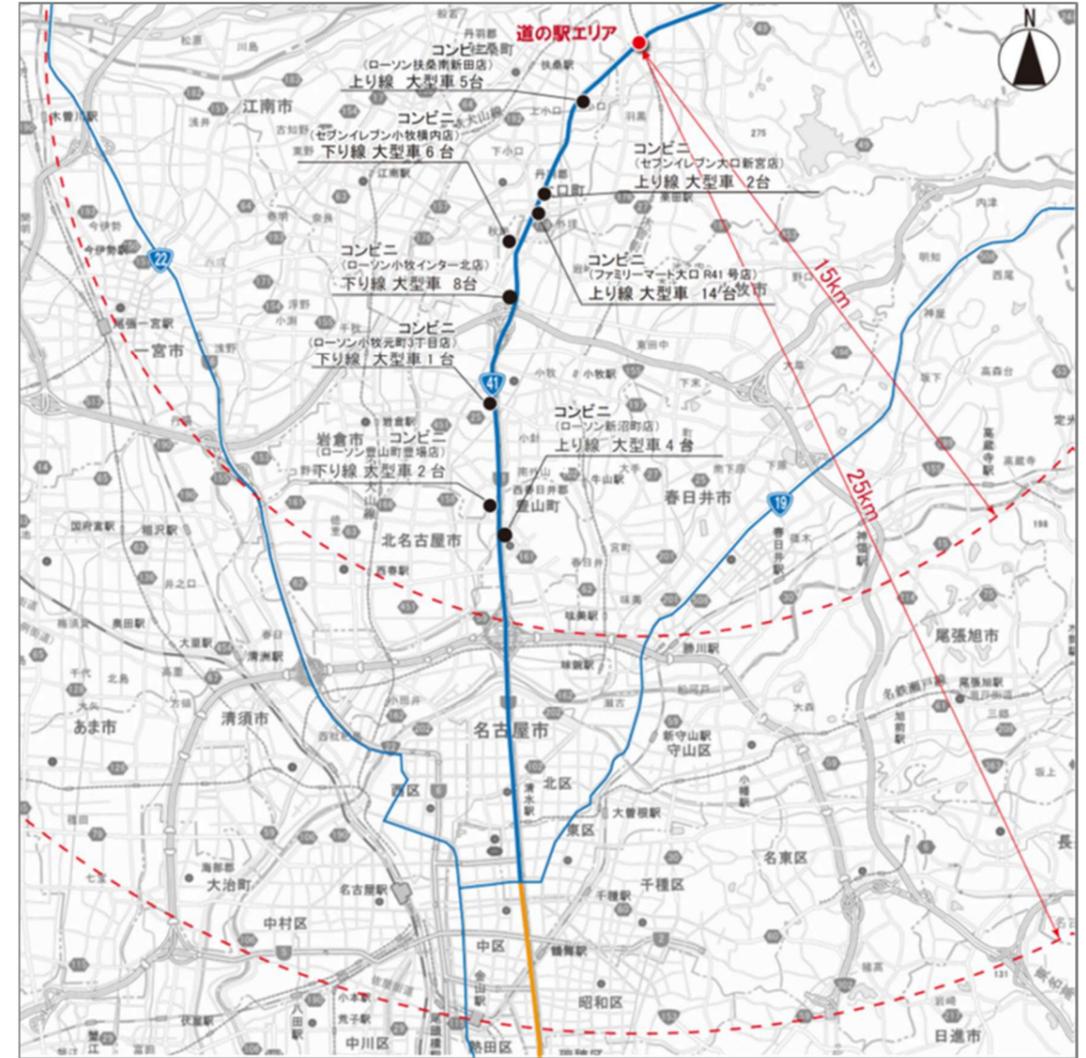
出典：交通センサス(平成27年)

■国道 41 号の主な駐車可能な施設

名古屋市から本市に至るまでの国道 41 号沿線の駐車可能な施設は少なく、公的な施設では岐阜県七宗町の道の駅「ロック・ガーデンひちそう」が名古屋からの最初の駐車可能な施設である。



国道 41 号沿線の駐車可能施設 1 (対象地 15km 圏内)



国道 41 号沿線の駐車可能施設 2 (対象地 15km 圏内)

2 計画地における位置づけの整理

(2) 立地

- 名古屋市中心部から自動車または鉄道で約 30 分の距離にあり、大都市近郊に位置している。
- 対象地 15km 圏内に 140 万人の人口を抱える。
⇒地域間交流の促進に適した立地である。

■本市の立地



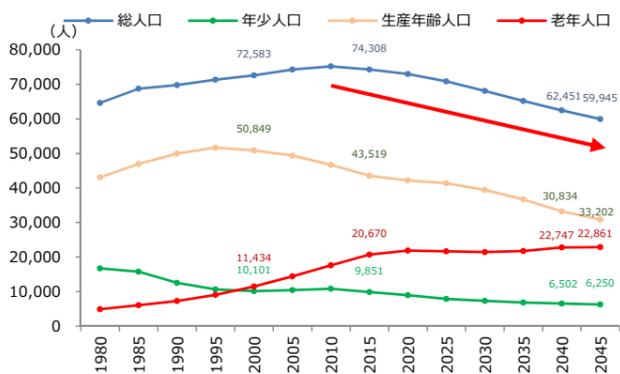
	15km圏内
人口総数	1,422,999人
総世帯数	547,829世帯

出典：国勢調査（平成 27 年）

(3) 人口

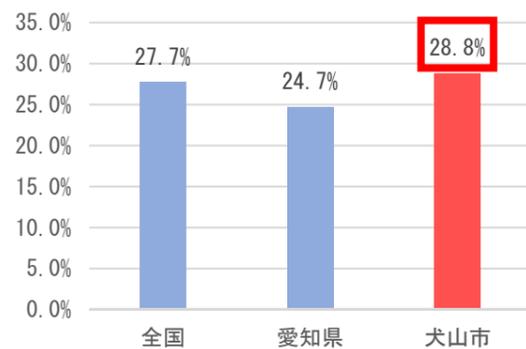
- 2010 年をピークに人口減少が進行。人口ビジョンによる 2060 年人口は 61,000 人を目標とする。
- 少子化・高齢化ともに進展、高齢化率は全国平均より高い。
⇒定住促進につながる魅力の発信が求められる。

本市の人口は 74,044 人（令和元年 5 月末）であり、今後人口減少が進行するものと考えられる。また、本市の高齢化率は全国及び愛知県と比較しても高い傾向にある。



人口推移（年齢 3 区分別）

出典：RESAS より作成



高齢化率

出典：国勢調査、内閣府「平成 30 年版高齢社会白書」

(4) 地方創生

- 新たな都市拠点及び交流エリアとして「道の駅」をきっかけとした地方創生
⇒新たな都市拠点及び交流エリアの中核施設としての役割が求められる。

■新たな都市拠点及び交流エリア基本構想

■「新たな都市拠点及び交流エリア」の基本的な考え方

1. 「道の駅」をきっかけとした地域創生の実現
国道 41 号沿線に位置し、本市の玄関口ともなりえるこの地区に、近年、様々な取組みで地域活性化に寄与している「道の駅」を位置付けることで、この地区への商業施設の立地を促進し、市民生活の向上、税収増による財源確保を図ります。
- 2 集約型都市拠点の実現（コンパクトシティ+ネットワーク）
今後、人口減少社会を迎える中で、集約型都市構造への転換を図る上では、新駅設置の可能性がある橋爪・五郎丸地区を新たな都市拠点とすることで、本市のコンパクトシティ+ネットワークの実現に大きく寄与できると考えます。
- 3 広域的な圏域からの利用に資する拠点
国道 41 号沿道に位置する橋爪・五郎丸地区は、広域的な圏域からの利用に資する拠点となります。また、名鉄小牧線の新駅（五郎丸駅）の設置となれば、犬山駅に次ぐ交通の要衝となり、一層の拠点機能の強化が図られます。



土地利用構想（案）
・新駅を設置し、駅前広場機能等を兼ねる「道の駅エリア」を国道 41 号の南側に配置した案

①第 5 次犬山市総合計画改訂版（平成 29 年 3 月）

人が輝き 地域と生きる “わ” のまち 犬山

- 新たな交流拠点の形成（駅設置の可能性検討ほか公共交通の充実）
- 魅力ある商業地の整備
- 地産地消を促進し犬山の特性を生かした施設誘致
- 商業集積ラインの設定（買い物利便性向上）

②犬山市都市計画マスタープラン改訂版（平成 29 年 3 月）

- 基盤が整い、活力を創出する都市
- 交流を生み、にぎわいがあふれる都市

2 計画地における位置づけの整理

(5) 観光

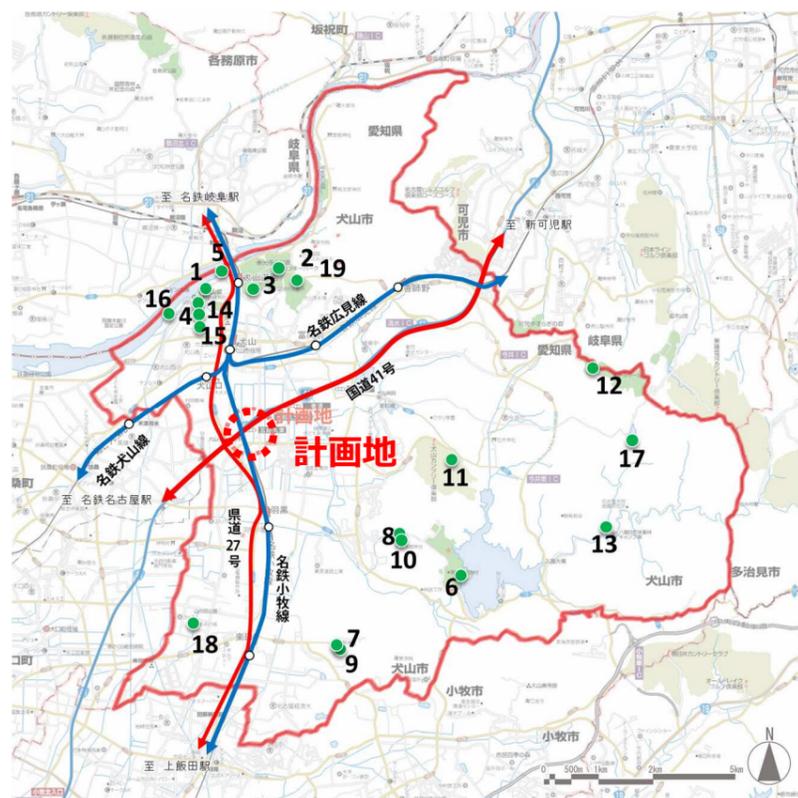
- 観光客は 2013 年より増加傾向
- 犬山城を始めとした、観光地が市内各地に立地
⇒市内観光周遊のハブ・ネットワークの形成が求められる。

■本市の観光資源

本市の観光資源は、国道 41 号を挟んだ犬山城・犬山城下町周辺と尾張丘陵に分布している。犬山城・犬山城下町エリアには、犬山城を始めとした観光地が集積しており、尾張丘陵には明治村や、リトルワールドといった観光地が点在している。

計画地は、市内の観光周遊のハブとなりうる場所に位置し、市内観光地のネットワーク形成に寄与すると考えられる。

No.	観光レクリエーション資源・施設名
1	犬山城
2	日本モンキーパーク
3	成田山名古屋別院
4	犬山祭
5	木曾川うかい
6	博物館明治村
7	大縣神社
8	尾張富士大宮浅間神社
9	姫ノ宮豊年祭
10	石上祭
11	犬山カンツリー倶楽部
12	リトルワールド
13	八曾自然休養林
14	犬山市文化史料館
15	どんでん館
16	日本ライン夏まつり
17	アウトドアベース今井
18	お菓子の城
19	日本モンキーセンター

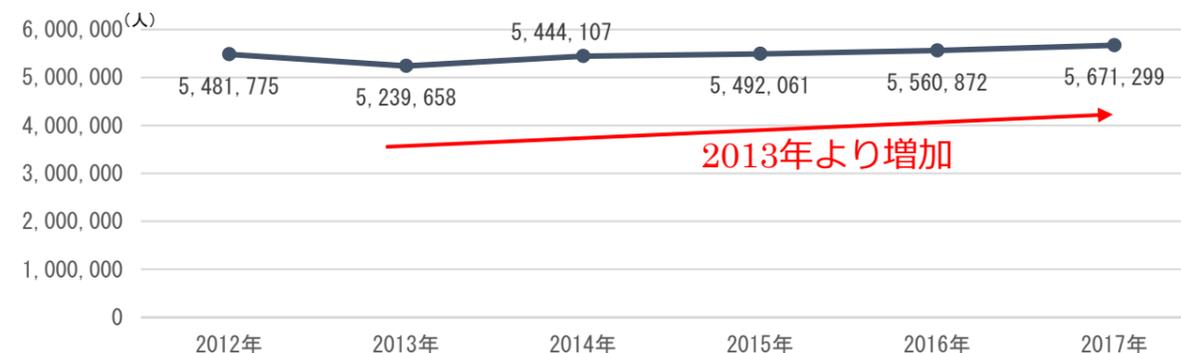


本市の観光レクリエーション資源一覧

出典：愛知県「平成 29 年観光レクリエーション利用者統計」より作成

■観光客数の推移

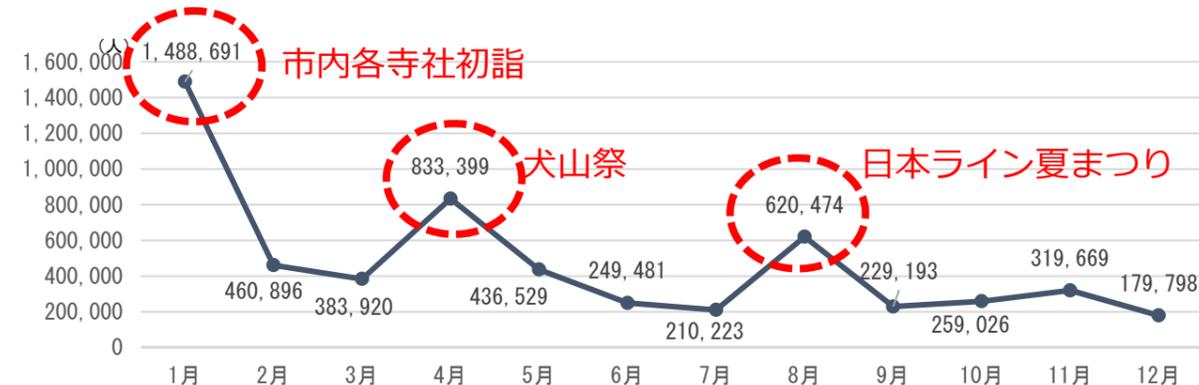
本市の観光客数は、2013 年より年々増加している。第 5 次犬山市総合計画改訂版（平成 29 年 3 月）では、2022 年の観光交流人口 600 万人を目標としている。



直近 5 年の観光客数推移

出典：愛知県「観光レクリエーション利用者統計」より作成

本市の観光客数が最も増加するのは 1 月であり、市内の成田山名古屋別院、大縣神社、尾張富士大宮浅間神社等の初詣の参拝客がその要因である。また、城下町で 4 月に行われる犬山祭や木曾川で 8 月に行われる日本ライン夏祭りの時期も観光客が増加する。



年間の観光客数推移（平成 29 年）

出典：愛知県「平成 29 年観光レクリエーション利用者統計」より作成

■本市の宿泊施設

本市には 22 の宿泊施設が立地している。しかしながら、最大の定員数を持つ宿泊施設が 2019 年 8 月より改装に入ることから、本市の宿泊施設の収容人数は大きく減少する。

愛知県及び本市の宿泊施設数

	総数	ホテル営業	旅館営業	簡易宿所営業	下宿営業
愛知県	1,300	296	888	111	5
犬山市	22	5	12	5	-

出典：愛知県「平成 30 年度刊愛知県統計年鑑—市町村別旅館業施設数」

2 計画地における位置づけの整理

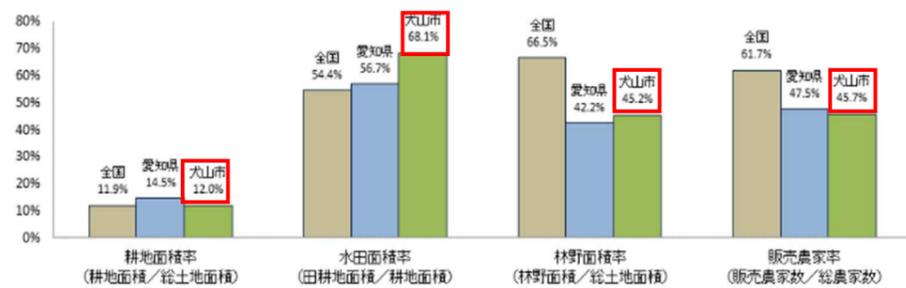
(6) 産業

- 農業生産額は小さい。次世代の担い手が不足。
⇒農業との連携が求められる。
- 市内商業は近隣と比較して買回り品に弱い傾向がある。
⇒市内企業との連携による商業の活性化が求められる。
- 地域の特産物として米、桃、自然薯等の農産物、犬山焼、和菓子が認知。

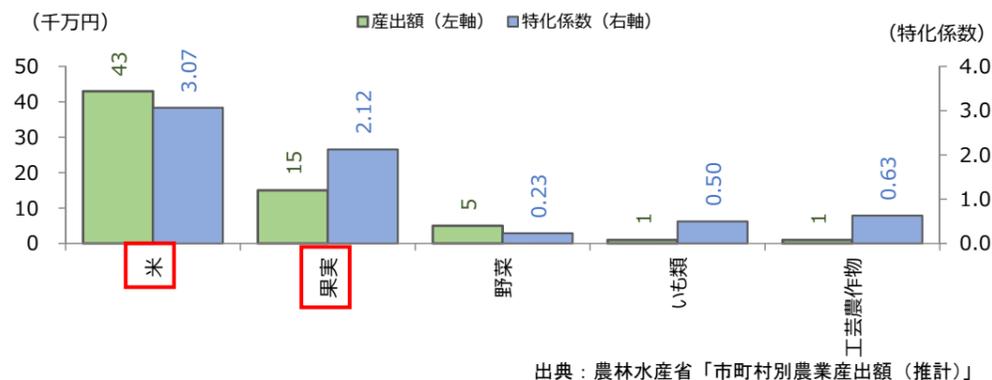
■本市の農業

本市の農業生産額は、8.3 億円（平成 29 年市町村別農業産出額（推計））であり、愛知県内 54 市町村の中で 38 位であり、生産額としては小さい。また、少子高齢化に伴い、次世代の農業の担い手が不足している。

本市の農業は、全国と比較しても耕地面積に対する水田面積は高く、稲作の割合が高い。また、農家数における販売農家の割合は全国や愛知県全体と比較しても低く、自家消費の割合が高いと考えられる。



本市の農業生産物の産出額を見ると、米が最も高く 43 千万円となっている。また、米に続いて果実も高く、15 千万円となっており、特化係数を見ても米と果実は高い傾向があり、米と果実が本市の主要な農産物であるといえる。



※特化係数：ある地域における品目 A の農業産出額構成比÷全国における品目 A の農業生産額構成比
1 を超える農作物はその地域において強みを持っている。

■本市の商業

本市の商業を見ると、売場面積は減少しているものの、年間商品販売額は増加の一途をたどっている。しかしながら、市民の買い物先を見ると、最寄品は市内で購入するものの、買回品は扶桑町や名古屋市の割合が高い。

市内の小売業の推移

年	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	年間商品販売額 (百万円)	売場面積 (㎡)
2012	347	2,052	35,882	43,737
2014	339	2,312	41,090	41,695
2016	352	2,496	41,578	37,034

市民の買い物先

	買回品	準買回品	最寄品	贈答品
犬山市内	7.8	30.6	64.7	21.0
小牧市	12.7	10.6	9.8	6.4
春日井市	0.2	0.2	0.0	0.7
名古屋市	20.0	9.2	0.6	21.4
扶桑町	25.0	21.9	11.8	16.1
大口町	2.0	3.8	3.4	3.2
江南市	2.9	1.6	0.5	1.2
可児市	1.6	2.8	3.1	1.4
各務原市	15.4	6.8	1.7	7.3
美濃加茂市	0.5	0.6	0.1	0.4
通信販売	7.3	0.6	0.3	14.8
その他	1.5	1.0	1.0	2.4

出典：市民意識調査（平成 27 年）



■本市の主要な特産物

本市の特産物は、米、桃、自然薯等の農産物を始めとして、和菓子や犬山焼等の生産物も広く特産物として認知されている。



米



桃



自然薯



和菓子



犬山焼

2 計画地における位置づけの整理

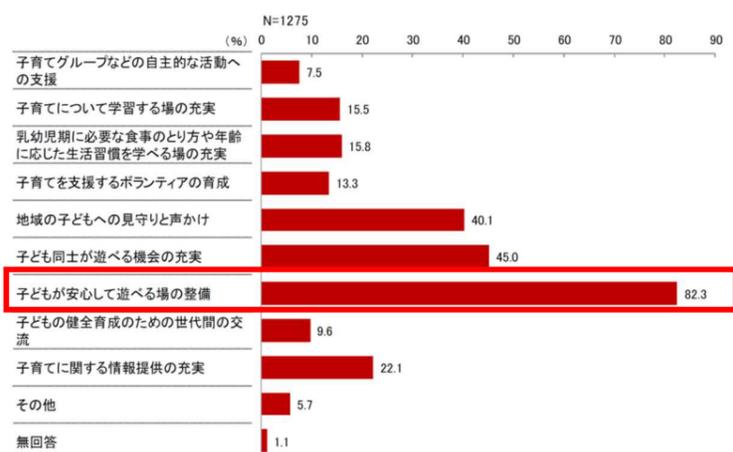
(7) 福祉

- 市民からの子どもの遊び場に対する高い要望（平成31年子ども・子育てに関するアンケート調査）
⇒子育て支援環境の提供が求められている。

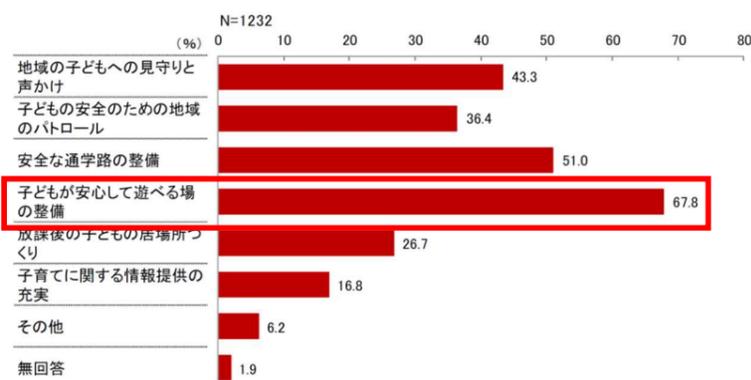
■本市の子育て環境

第5次犬山市総合計画改訂版（平成29年3月）では、子育て支援の充実を目標としている。

就学前及び小学生の児童を持つ保護者を対象とした「子ども・子育てに関するアンケート」（平成31年3月）では、本市を子育てしやすいまちにしていきたいために市に望む取り組みについて、就学前児童の保護者の8割、小学生児童の保護者の6割が「子どもが安心して遊べる場の整備」と回答している。また、「子どもの遊べる機会の充実」などの回答も多く、遊べる場所の整備に加え、機会の充実も望まれていることが分かる。



子育てしやすいまちにするために市に望む取り組み（就学前児童の保護者）



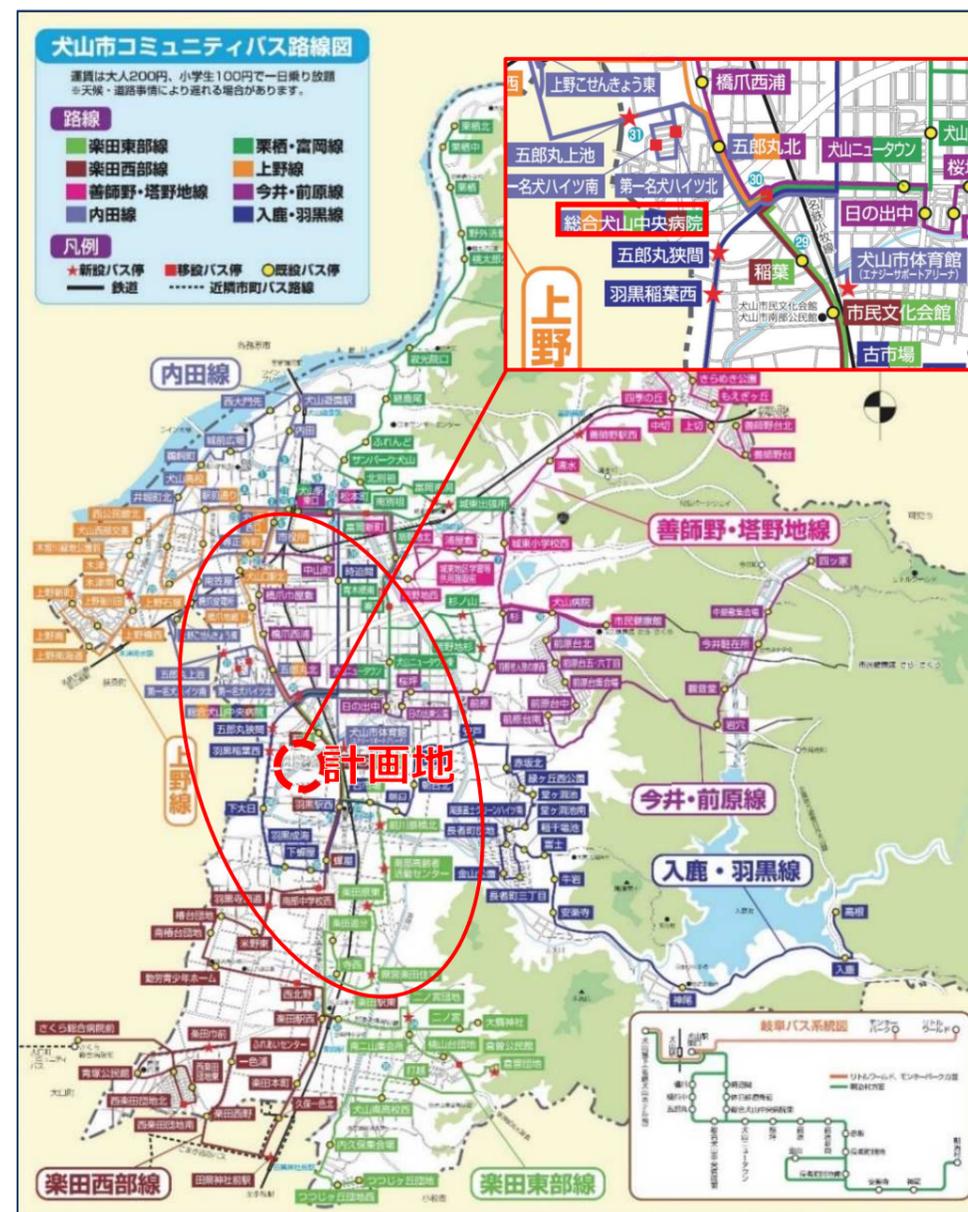
子育てしやすいまちにするために市に望む取り組み（小学生児童の保護者）

出典：犬山市「子ども・子育てに関するアンケート調査（結果報告）」（平成31年）

(8) 交通

- 総合犬山中央病院を乗換拠点にバス路線網が形成。
- 名鉄小牧線と並行するエリアに高いバス需要
⇒交通結節点としての乗り換え利便性の向上が求められる。

市内には8路線のコミュニティバスと2路線の民営バスが運行されている。計画地周辺には市内コミュニティバス路線8路線の内、7路線が集まっており、「総合犬山中央病院」バス停を乗換拠点にバス路線網が形成されている。



2 計画地における位置づけの整理

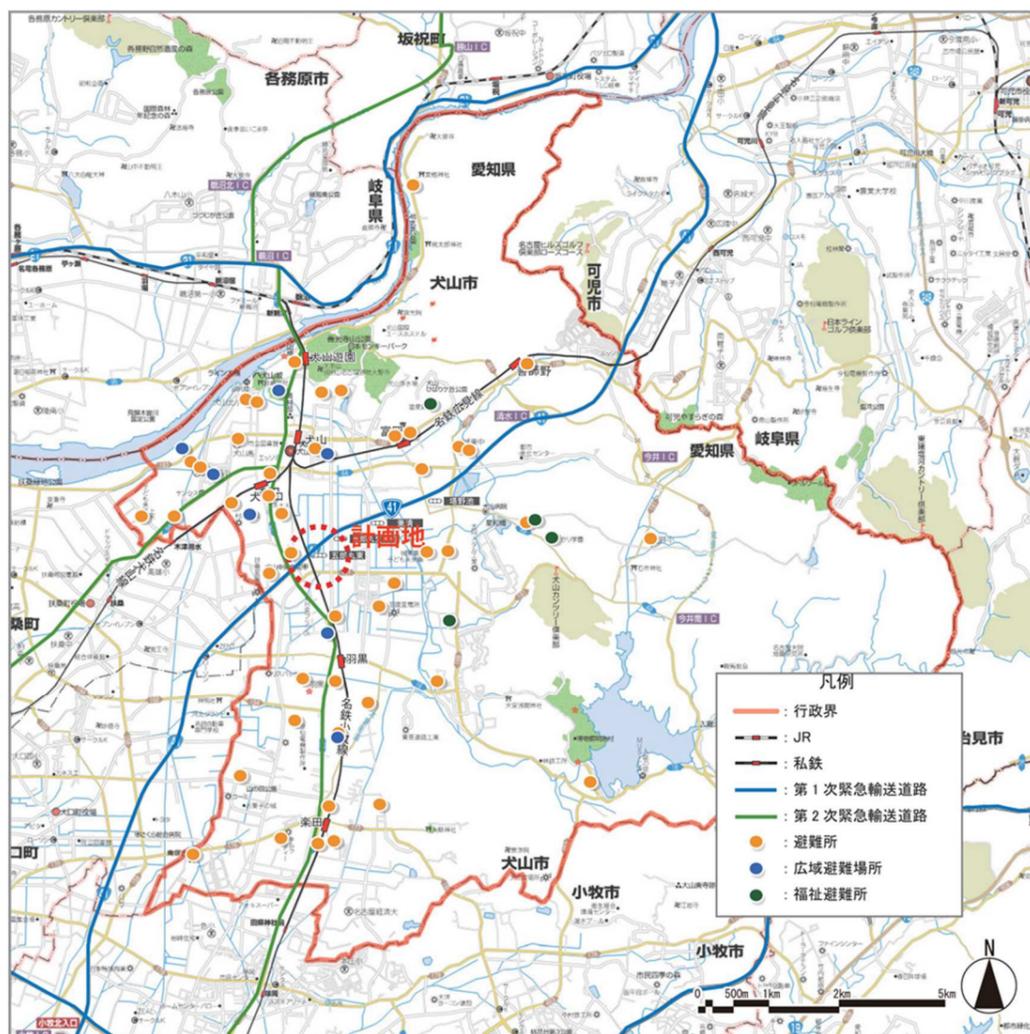
(9) 防災

- 国道 41 号の緊急輸送路としての役割
- 道の駅の防災拠点としての役割の拡大
⇒道路利用者を中心とした地域の避難所・避難場所の提供が求められている。

■本市の防災施設の概況

計画地に隣接する国道 41 号は、災害時に必要な救助、消防活動および緊急物資を運ぶための第 1 次緊急輸送道路として指定されており、本計画地は物資の輸送拠点及び道路利用者の緊急避難場所としての利用の可能性がある。

市内には、45 箇所の避難所、7 箇所の広域避難場所、4 箇所の福祉避難所が指定されている。計画地周辺には、犬山市体育館や五郎丸こども未来園等の避難所や、広域避難場所とするすみふれあい広場があり、地域住民の避難場所は、確保されていると考えられる。



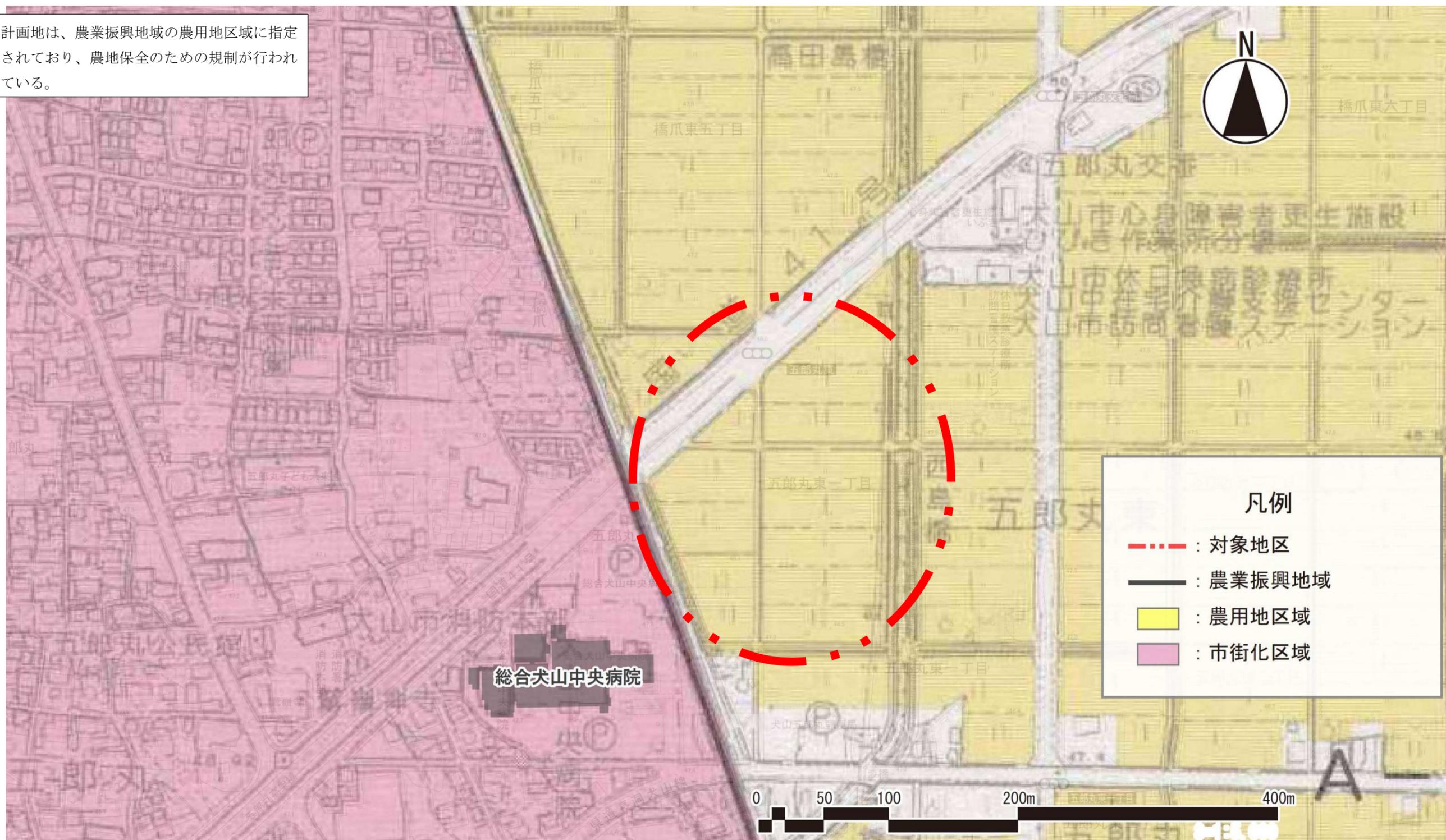
本市の避難所・避難場所の位置

出典：国土交通省中部地方整備局 防災道路情報 web マップ、犬山市地域防災計画（平成 30 年 2 月修正）より作成

3 敷地条件の整理

農業振興地域

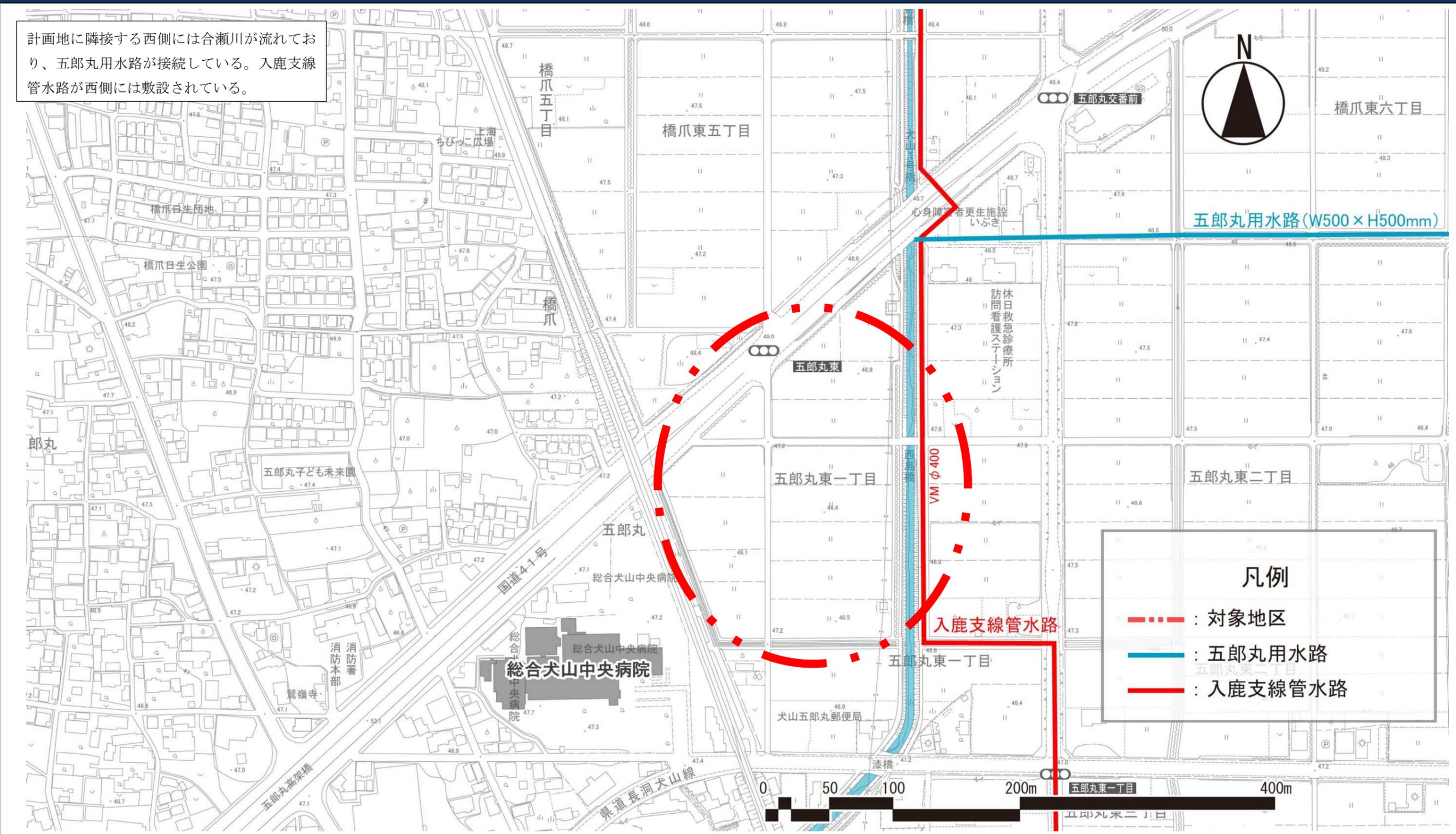
計画地は、農業振興地域の農用地区域に指定されており、農地保全のための規制が行われている。



3 敷地条件の整理

用水路

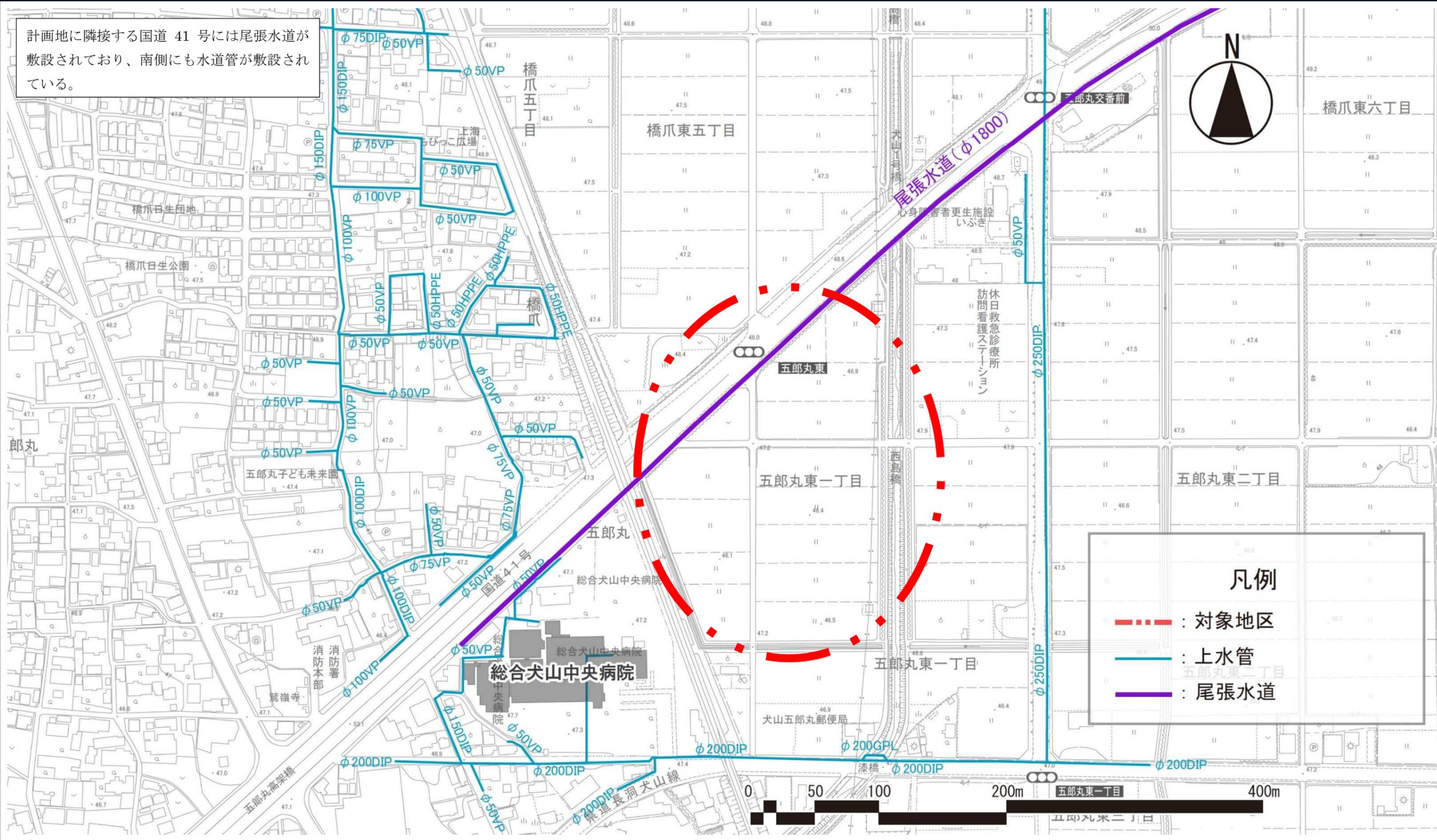
計画地に隣接する西側には合瀬川が流れており、五郎丸用水路が接続している。入鹿支線管水路が西側には敷設されている。



3 敷地条件の整理

上水道敷設図

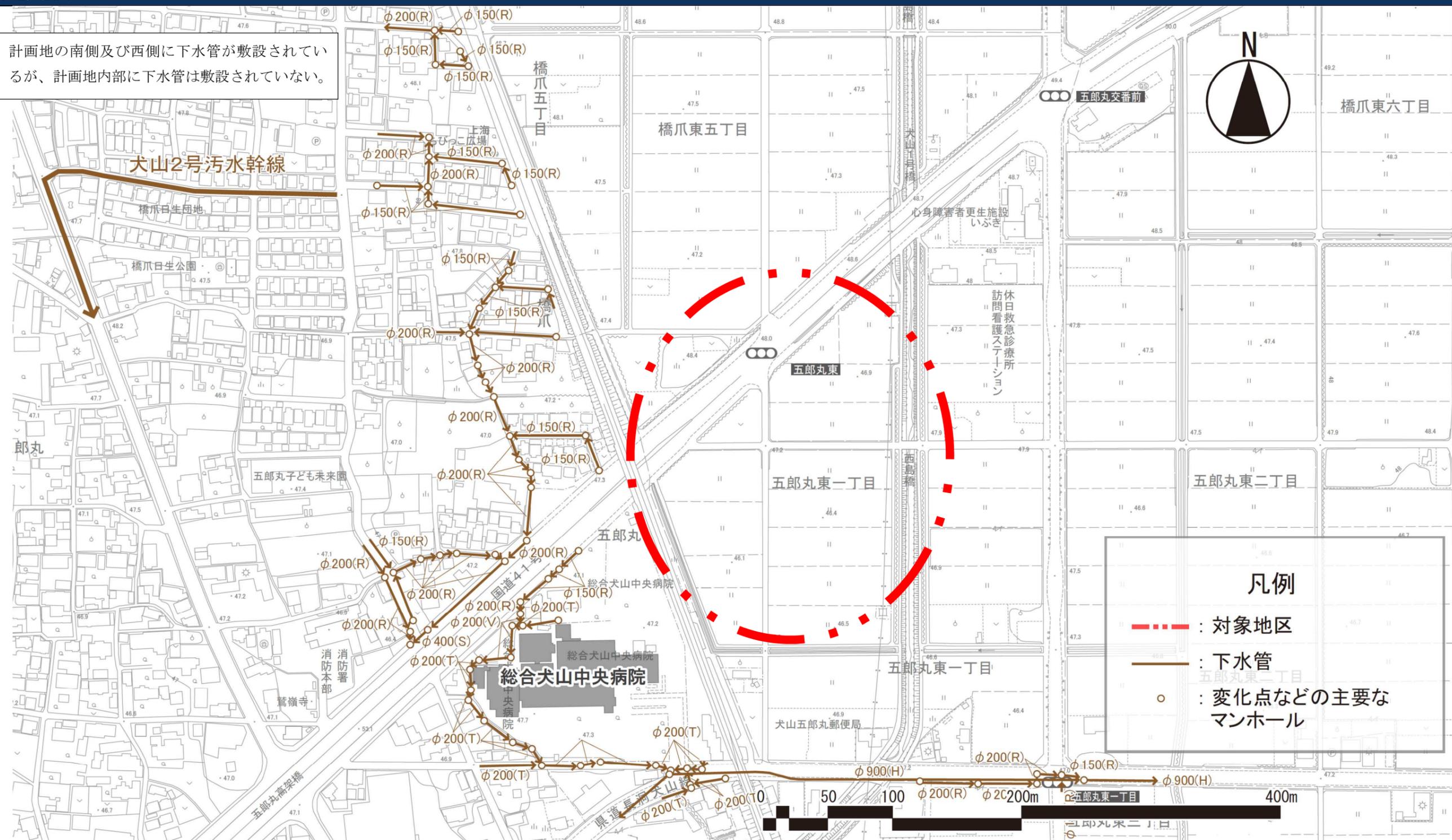
計画地に隣接する国道 41 号には尾張水道が敷設されており、南側にも水道管が敷設されている。



3 敷地条件の整理

下水道敷設図

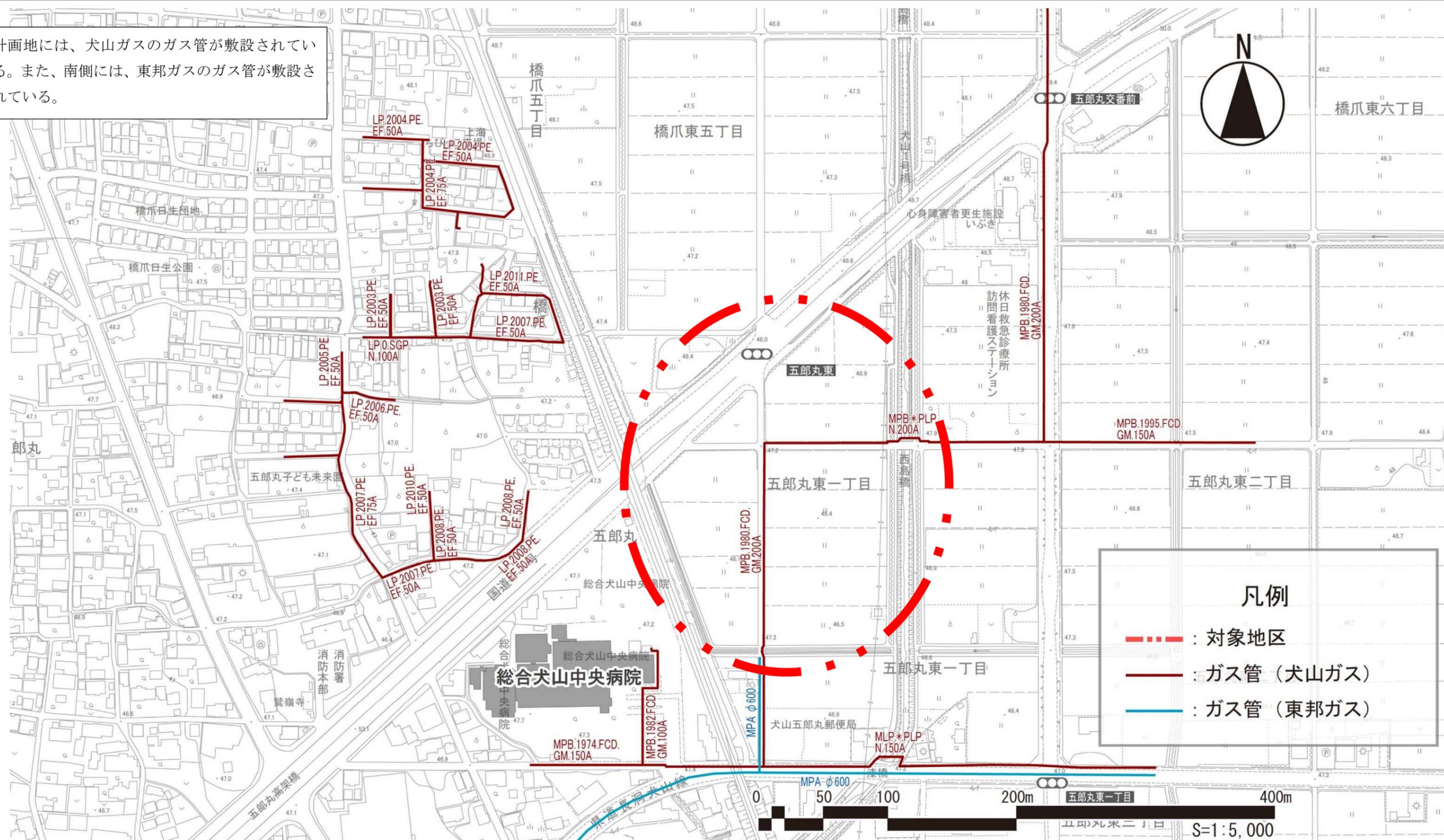
計画地の南側及び西側に下水管が敷設されているが、計画地内部に下水管は敷設されていない。



3 敷地条件の整理

都市ガス敷設図

計画地には、犬山ガスのガス管が敷設されている。また、南側には、東邦ガスのガス管が敷設されている。



4 道の駅エリアのコンセプト（案）

道の駅に求められる役割			
国道 41 号	国道 41 号における休憩施設空白地帯の解消	産業	農業との連携 市内企業との連携による商業の活性化
立地	地域間交流の促進		福祉
人口	定住促進につながる魅力の発信	交通	
地方創生	新たな都市拠点及び交流エリアの中核施設	防災	道路利用者を中心とした地域の避難所・避難場所の提供
観光	市内観光周遊のハブ・ネットワークの形成		

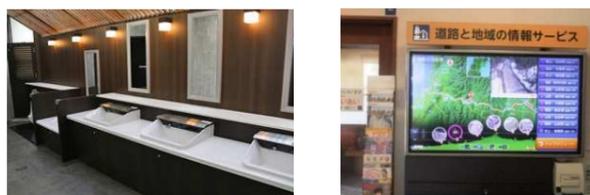
道の駅エリアのコンセプト（案）

可能性の扉をひらき、地域活力を創造する『（仮称）道の駅いぬやま』

整備の基本的な方針

基本的な方針 1

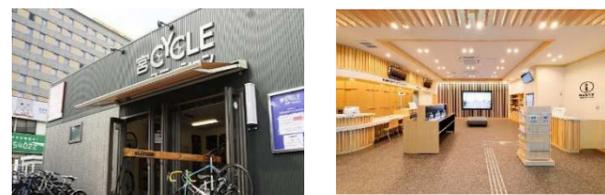
道路利用者への快適なサービスを提供する場
国道 41 号の道路利用者の安全な交通に寄与し、来訪者に快適な利用環境を提供する。



右図 出典：道の駅もてぎサイト
<http://www.motegi-plaza.com/shisetu.html>
左図 出典：小国町観光協会
<http://kumakun.ogunikankou.jp/?eid=1587908>

基本的な方針 2

地域の新たな活力を創造する場
都市の求心力向上を目指し、新たなまちづくり拠点にふさわしい道の駅を構築する。



右図 出典：宇都宮市宮サイクルステーションサイト
<http://miya-cyclestation.jp/>
左図 出典：川崎市サイト「観光案内所について」
<http://www.city.kawasaki.jp/280/page/0000097219.html>

基本的な方針 3

地域の魅力発信と市民の愛着を醸成する場
犬山に住みたい、訪れたいと感じる魅力の発信と、市民の生活の質、満足度の向上を図る。



右図 出典：国土交通省サイト「国営滝野すずらん公園」
<http://www.mlit.go.jp/hkb/kouengesuidoukankyoueisei.html>

基本的な方針 4

地域資源の利活用を促進する場
地域の潜在力を活かしたモノ・サービスを展開するとともに、新たな付加価値を創出する。



右図 出典：JA 愛知北サイト「犬山の桃」
<http://www.ja-aichikita.or.jp/agri/products/momo.php>
左図 出典：愛知県産業振興課サイト「あいちの伝統的工芸品及び郷土伝統工芸品・犬山焼」
<https://www.pref.aichi.jp/sangyoshinko/densan/106.html>

整備の取り組み

民間活力の最大限活用

基本的な方針を達成するために、民間と密接に連携を取りつつ民間活力を最大限活用した整備を行う。

